

もっとNIAD-QEのことを知りたい方へ



公式ウェブサイト



機構概要



NIAD-QEトピックス



NIC-Japan



大学ポートレート



大学基本情報

検索

<https://www.niad.ac.jp/>



小平本館 (一橋大学小平国際キャンパス内)

〒187-8587

東京都小平市学園西町 1-29-1

TEL : 042-307-1500 (代表)



アクセス



竹橋オフィス (学術総合センター 10F)

〒101-8438

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

TEL : 03-4212-6000 (代表)



アクセス

沿革

- | | |
|----------|--|
| 平成 3年 7月 | 学位授与機構を設立 |
| 4年 7月 | 国立学校財務センターを設立 |
| 12年 4月 | 学位授与機構が大学評価・学位授与機構へ改組 |
| 16年 4月 | 独立行政法人化 (大学評価・学位授与機構、国立大学財務・経営センター) |
| 28年 4月 | 大学評価・学位授与機構と国立大学財務・経営センターの統合により、大学改革支援・学位授与機構が発足 |



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

～ 学びの現在・未来を支える ～

大学改革支援・学位授与機構 (NIAD-QE) について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 (NIAD-QE) は、教育研究の質を高めるための大学などの自らの活動を支援するとともに、高等教育段階における学習の成果としての学位が適切に認識され評価されるように努め、大学などと連携して社会からの期待と信頼に応えられる高等教育の実現を目指します。また、中長期的な人材の育成の観点から特に支援が必要と認められる分野における教育研究活動の展開を促進することにより、社会の発展を目指します。これらの目的を達成するために、機構では大きく分けて6つの事業を実施しています。

学位授与事業

毎年約3,500人に学位を授与

大学以外の学びを学位につなげています。

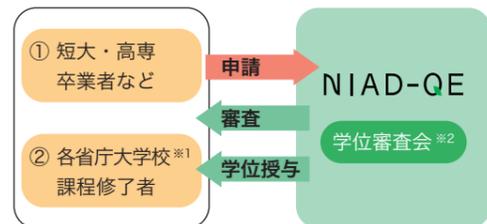
国内で唯一、大学以外で学位を授与しています。専門学校、短大、高専、省庁大学校などで学んだ人達が、大学の学部・大学院の修了者と同レベルで学修を積み重ねたと認められた場合、NIAD-QEで学位を取得できます。取得した学位は、進学や就職など、将来の選択肢を広げることに役立ちます。

単位積み上げ型の学位授与(学士)

省庁大学校の課程修了者への学位授与(学士、修士、博士)

学位授与の流れ

- ① 単位積み上げ型の学位授与
- ② 機構認定の各省庁大学校課程修了者への学位授与



※1 防大、防衛医科大、水産大、看護大 など
※2 外部の有識者などで構成

学位の取得

進学、就職、資格取得、キャリアアップなどに貢献

助成事業

3年間の公募で約2.2万人の理系分野の入学定員増

大学や高専の理系分野への転換を支援しています。

文理の枠を超えたデジタル・グリーンなどの成長分野で働く人材を増やすため、大学や高専の理系分野の入学定員を増やす取組に助成金を交付しています。

学部再編等による特定成長分野への転換

高度情報専門人材確保のための機能強化

評価事業

国立大学全体の97%、高専全体の100%の機関別認証評価を実施(法科大学院の認証評価も実施)

大学や高専などの教育研究の質の向上を支援しています。

日本の大学や高専がふさわしい水準の教育や研究を行っているか、外部の有識者などが確認し、結果を公表しています。

それにより、大学や高専の

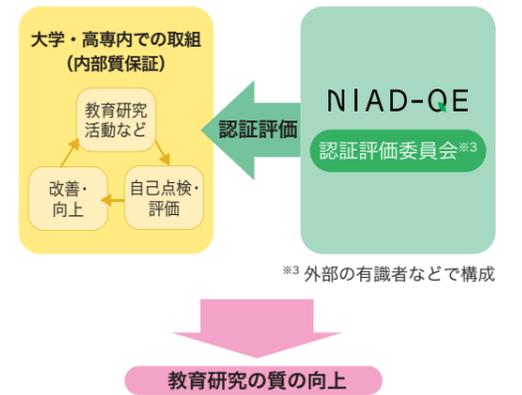
- ① 教育や研究の質をしっかりと保つこと
- ② 目指していることや特徴を大事にしながら、教育や研究の水準の向上や、個性を伸ばしていくこと

を支援しています。

認証評価

国立大学法人評価

認証評価の効果



※3 外部の有識者などで構成

施設費貸付・交付事業

国立大学などが病院の建て替えをはじめ、より良い環境を整えるために資金面で支援しています。

国立大学等の施設整備支援

質保証連携

国内外での連携と情報発信で、教育の質の向上を支援しています。

大学ポートレート

NIC-Japan

国立大学法人の運営基盤の強化促進支援

質保証人材育成

調査研究

さまざまな分野の専門家が、国内外の高等教育の今を見つめ、より良い未来を描くための研究をしています。

学位をめぐる最新の国際的動向の調査・研究

高等教育機関の現状を正しく評価する方法の開発

高等教育の姿を正しく社会に伝える情報システムの開発

大学・高専の地域別選定校数 (令和5年度～令和7年度の累計)

